

歳入
170億9,124万円
平成19年度 173億8,934万円
対前年比 ▲2億9,810万円

歳出
165億8,832万円
平成19年度 169億 562万円
対前年比 ▲3億1,730万円

次年度繰越金

歳入 170億9,124万円
歳出 165億8,832万円
5億 292万円

(繰越金の内 ※
2億5,388万円は繰越事業費)
※20年度の事業が21年度に
繰り越されたもの

◇年収 自分たちで賄えるお金 30.7%		◇親からの仕送り 全国どこに住んでいても同じように暮らす ことができるようにするためのお金 59.3%		◇ローン 国や銀行か らの借入
市税 31億9,192万円 18.7%	19年度繰越金 使用料・手数料等 20億6,367万円 12.0%	地方譲与税等 各種交付金 5億4,802万円 3.2%	地方交付税 74億8,908万円 43.8%	国補助金 12億2,210万円 7.2%
				県補助金 8億6,465万円 5.1%
				地方債 17億1,180万円 10.0%

人件費 34億7,646万円 20.9%	物件費 17億8,399万円 10.7%	扶助費 20億5,146万円 12.4%	公債費 42億 370万円 25.3%	補助費等 7億3,023万円 4.4%	繰出金 18億5,094万円 11.2%	積立金 5億2,505万円 3.2%	建設事業・ 維持修繕費 19億6,649万円 11.9%	次年度繰越金・事業費
-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	---	------------

- ◆食費 (議員報酬や職員の給与・手当など)
- ◆光熱費・衣料費 (消耗品・光熱水費・通信運搬費など)
- ◆医療費・介護費用 (障害者支援費の給付など)
- ◆ローンの返済
- ◆町内会費 (一部事務組合・各種団体への補助金)
- ◆仕送り (特別会計への繰出金)
- ◆貯金 (基金積み立て)
- ◆車の購入費・家の修繕費 (市道や建物の整備・建設)

一般会計総括

20年度決算は、19年度に比べ歳入では、国補助金▲3億7,305万円・県補助金▲4億2,061万円・繰入金▲1億 111万円が減額。歳出では、積立金▲9億1,961万円・普通建設事業費▲1億7,007万円・物件費▲1億1,321万円が減額となりました。歳入歳出とも約3億円の減額です。これは、建設事業にかかる国・県補助金が連動して減少になったことなどが主な原因となっています。

20年度の主な建設事業は、赤岡市民館改築事業 3億3,824万円、赤岡保育所建設事業 2億2,346万円、赤岡「中学校プール改築事業8,044万円、観光情報センター建設事業6,816万円、高規格道路関連環境整備事業5,225万円などです。

(特別会計)…特定の収入でその支出が賄えるもの

会計名	歳入	歳出	歳入の内一般会計からの繰入金
国民健康保険特別会計	41億3,724万円	41億3,485万円	2億5,971万円
老人保健特別会計	5億 331万円	5億1,590万円	3,841万円
介護保険特別会計	27億 343万円	25億9,433万円	3億8,362万円
簡易水道特別会計	2億 366万円	1億3,217万円	0万円
下水道事業特別会計	8億4,230万円	8億9,745万円	3億4,724万円
農業集落排水事業特別会計	3億2,367万円	3億2,367万円	2億8,080万円
漁業集落排水事業特別会計	3,257万円	3,257万円	3,070万円
香南香美地区障害者自立支援審査会特別会計	90万円	90万円	0万円
工業団地造成事業特別会計	4,964万円	2,256万円	538万円
後期高齢者医療保険特別会計(新設)	3億6,422万円	3億6,381万円	1億 566万円

※一般会計から総額14億2,602万円が繰り入れられました。

(企業会計)…使用料などの収益があり、支出を収益で賄っているもの

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	前年度繰越金などからの補てん額
水道事業会計	3億8,784万円	3億4,026万円	1億1,429万円	3億 518万円	1億9,089万円
工業用水道事業会計	4,239万円	2,562万円	5,110万円	7,415万円	2,305万円

特別会計・企業会計

後期高齢者医療保険特別会計が新設され10会計になりました。これは、後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るための会計です。特別会計を昨年度と比較すると、一般会計からの繰入金、特別会計全体で2億8千万円ほど減少しました。

借入金返済 (一般会計公債費)

20年度の借入金返済額は、42億 370万円

ココをチェック

将来のために借入金返済

借入金の返済額は、昨年比で7億3,616万円増加しています。これは、毎年借入金の償還額が徐々に上昇しているのと、将来の財政負担軽減のため、6億9,035万円の繰上げ償還(借入金の返済)を行ったことが要因となっています。



借入金残高 (一般会計地方債)

借入金残高は229億2,611万円

20年度の借入金残高(左図)は、昨年度と比べると19億3,800万円の減少となっています。

平成20年度 **決算報告**

一般会計

市の台所事情を公開

平成20年度決算が9月市議会にて認定されました。毎年公表される決算報告は、将来を見極めるうえで大切な指標となります。市では皆さんが納める税金をはじめ、地方交付税や国・県の補助金などをもとに行政運営を行っています。20年度の決算で、ただのお金をどのように使ったのかを、市の家計簿と市財政の現状と課題を説明します。